



さんむ 21
おののぎ き
小野崎 正喜
議員

空港問題について

問 自治体連絡協議会で、機能強化案に対して再度、要望書を提出し回答が示されたが、市長の見解はどうか。

答 市長 国や空港会社も、国際競争力の強化と住民の生活環境保全の両立という観点から、9市町の要請に対して、可能な限りの回答であったと受けとめざるを得ないと思います。

問 今回示された回答、新たな機能強化案で、特に騒音下の住民の方々に理解が得られるのかどうか疑問である。その辺をどう思っているのか。



飛行機が飛び立つ成田空港

答 市長 住民の方々にご理解をいただくというよりも、少しでもご納得をいただけるような努力を、市としても最大限、努力していく必要があると考えています。

問 県では、国、空港会社と連携を図り成田空港周辺の地域づくりに関する基本プランを示

されたが、市はどのような受けとめているのか。

答 総務部長 市町から要望事項について、ヒアリングを行った上で、県庁内の関係部署の職員で構成されるワーキンググループでの協議・検討が加えられ、まとめられたものと伺っています。

山武市総合計画と財政計画について

問 市長の任期に合わせ、1年先送りとなった次期総合計画の内容とスケジュールについてはどうか。

答 総務部長 4年間の市長任期と連動させることによって、急な環境変化や施政方針等、計画と実態が乖離しないよう、機動的かつ柔軟な対応ができる実効性のある計画としたいと考えています。

4月の市長選挙後に、施策体系を決定し、その後、施策重点分野の決定、目標値の設定を行い、12

問 市独自の基本プランを策定して、市民にお示しすべきだと思いがどうか。

答 総務部長 市としても、ご提案の趣旨を受けとめ、独自性のあるプランを策定する必要がありますと考えています。

月までに素案を策定予定で、平成31年の議会第1回定例会に、次期総合計画の基本構想について、議案として、提出をさせていただきます。

問 山武市が誕生し5年目に定めた財政計画と実際の財政状況は、余りにも乖離している。何のための財政計画なのかと言わざるを得ないと思いが市の見解はどうか。

答 財政課長 議員が言われたとおり、合併後10年間の予算規模を、190億円程度にする計

画となっていました。国の経済対策事業や、東日本大震災による復興事業、また、公共施設等の耐震や老朽化による改修事業などに係る経費がかさんで増額となり、合併当初の見込みを上回る予算規模となってしまうと考えています。

問 市長の任期も残すところもわずか、最後に、山武市のこれからの展望について、市長の思いを伺う。

答 市長 ご質問ありがとうございます。小野崎議員からは、今議会、総合計画、財政計画、成田空港と地域の問題についてご質問をいただきました。ただいまの質問の中でも、これからの市の財政のあり方について、さらにしっかりと計画性を持って進めなければいけないと考えています。

これからの、将来に向けて、厳しい財政状況が予想される中では、これからの新しい執行部の手腕

に期待をしていきたいと思えます。

成田空港の問題ですが、私の任期中、力足らず、大きな成果を上げなかったということにつきまして、お許しをいただきます。成田空港の必要性和騒音の影響をこうむるといふ相反する問題は、大変難しい問題であり、これからのことについては、議員の見識、手腕に期待をしなければならぬと思っていますので、引き続き、お骨折りをいただきます。

